

記入例 KPK-A55

九州電力用

ご契約名義:

本資料は、各電力会社の標準整定値を元に設定可能な値を記載しています。電力会社からの変更指示があった場合はそれに従い、申請書の値、パワーコンディショナーの整定値を変更してください。また、青枠で囲んだ項目は標準整定値にする場合に、出荷時設定から変更のある項目です。系統連系前に確実に設定してください。

低圧太陽光発電(JET認証品)用系統連系資料

: お客さま記入欄

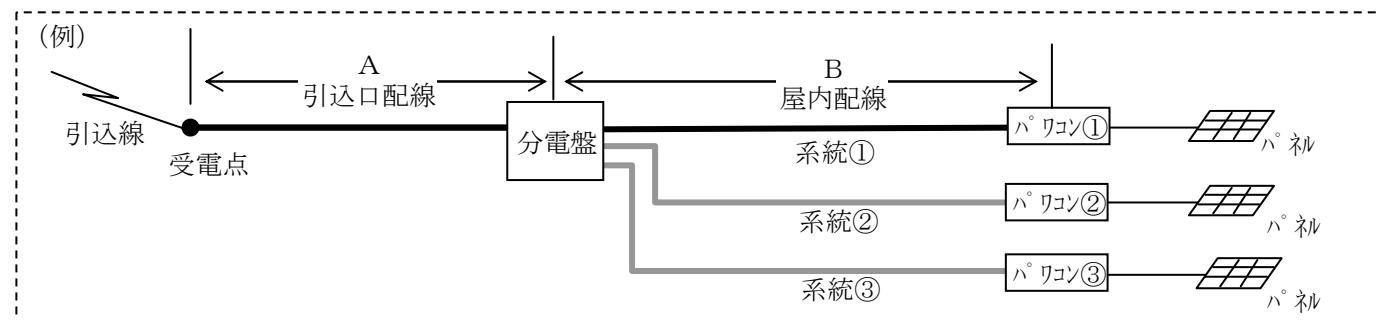
① 発電設備諸元

メーカー名	オムロン株式会社	J E T 認証登録番号	MP-0141	
型式	KPK-A55		電力記入欄	適・否
電気方式	単相2線式 (注1) (接地方式:)	逆変換装置	種類 (制御方式)	自励式電圧型 電流制御方式
定格電圧 [kV]	0.2		過電流制限値 [%]	140
定格出力 [kW]	5.5	突入電流値 [A]	40	
発電機容量 [kVA]	5.5	圧自調整電	調整可能範囲 [V]	有効電力制御 107~113
運転力率 [%]	95以上 (定格出力時)		初期設定値 [V]	工場出荷時: 109 現地にて 110 に変更
商用側との絶縁方式 (注2) ※電気方式が三相3線式の場合はいずれかにチェック	<input type="checkbox"/> 絶縁トランス設置 <input type="checkbox"/> 絶縁トランス内蔵型			

注1: 三相3線式の場合は、接地方式を記載するとともにパワコンの仕様及び主回路構成の分かる仕様書または技術資料を添付のこと。(接地方式がない場合は、「-」で可)
注2: 三相3線式では、商用側 (電力会社低圧系統) に連系する場合、絶縁トランスの設置が必要なパワコンがある。

② 引込口配線及び屋内配線の諸元

	線種	サイズ	距離	発電容量
A 引込口配線 (受電点~配電盤)			m	kW
B 屋内配線 (配電盤~パワコン) 系統①			m	kW
" 系統②			m	kW
" 系統③			m	kW



※ 発電容量は最大出力容量を記入ください (パワコン容量とパネル容量のうち小さい方)
 ※ 電気ご使用申込書およびお客さま設備工事設計図 (完成届) 兼施工証明書など屋内配線諸元を記載した資料がある場合はその資料を添付することで代用可。
 ※ 分電盤以降が複数の系統に分かれて発電機が接続されている場合は、各々の系統の配線諸元について記入ください。
 ※ また、系統が多いなど上記の記入欄に記載できない場合は、屋内配線諸元を記載した資料を添付ください。

③ 保護協調チェックリストおよび保護継電器整定値一覧表

保護継電器等	リレー		タイマー		電力記入欄
	申請整定値	推奨整定値 [整定範囲]	申請整定値	推奨整定値 [整定範囲]	
過電流要素付漏電遮断器 OC付ELCB (注1)	メーカー名: _____ 極数素子数: ___P___E 型式: _____ 逆接続 (可・不可) 定格電流: _____				適・否
過電圧 O V R	115V	115% [110~120%]	1.0秒	1.0秒	適・否
不足電圧 U V R	80V	80% [80~90%]	1.0秒	1.0秒 [0.5~2.0秒]	適・否
周波数低下 U F R	58.2Hz	58.2Hz [57.0~59.4Hz]	1.0秒	1.0秒 [0.5~2.0秒]	適・否
周波数上昇 O F R	61.2Hz	61.2Hz [60.6~61.8Hz]	1.0秒	1.0秒 [0.5~2.0秒]	適・否
単独運転防止	受動式 (注2)	方式: 周波数変化率検出方式 整定値: _____	検出: 0.5秒以内 保持: _____	検出時限0.5秒 保持時限5~10秒	適・否
	能動式 (注3)	方式: ステップ注入付周波数 フィードバック方式 整定値: _____	瞬時	0.5秒~1.0秒	適・否
復電後遮断機投入防止			300秒	300秒以上	適・否
事故時運転継続 (F R T) 要件適用の有無			有・無		

注1: 逆接続可能型であること。なお、OC付ELCBのカタログ等を添付のこと。また、パワコンから引込口間に複数設置する場合は、引込口側のものを記載する。
 注2: JET認証登録番号が「MP」で始まる場合は、タイマーの申請整定値の保持時限は「-」で適とする。
 注3: JET認証登録番号が「MP」で始まる場合は、タイマーの申請整定値は「瞬時」で適とする。

④ 単線結線図

・解列箇所 (遮断器種別・容量)、パワコン、分電盤、負荷、計器、変圧器等を明記した単線結線図を添付のこと。

⑤ JET認証品の証

・JET認証証明書 (写) を添付のこと。